



八高新時代!! 君も挑戦、八高で三刀流!!

「知の泉」に「緑の風」吹く

令和7年1月8日(水)

兵庫県立八鹿高等学校

校長 山本 宏治

28

3学期始業式で、次の話をしました。

かつてNHK全国学校音楽コンクールの課題曲になった「信じる」という曲、作詞は谷川俊太郎さんです。

3連から成るこの詩は、概ね次のようなことを伝えていると思います。

- 1 自分にうそがつけない、自分をいつわらない、そんな私自身を、私は信じる
信じることに理由はいらない
- 2 人のいたみやつらさから目を背けない、そんなあなたを私は信じる
信じることで、いのちがよみがえる
- 3 すべてのものが日々新しい、そんな世界を私は信じる
信じることは生きるみなもと

自分を信じ、人を信じ、そして世界を信じる。そのことによって、生きるよろこびを、こころとからだにあふれさせることができる。なぜなら、人の幸福は、人との間に結ぶ信頼関係や絆の中にこそあるからです。

皆さんには自分を信じること、人を信じること、世界を信じること、に加えて、二つのことを信じてほしいと願います。

- 1 大切な人との愛情、人を思いやること、時には人の痛みに寄り添い助け合うこと、これら、人にとって普遍的な価値をもつ言葉や行動の力を信じてほしい。
- 2 見えない未来を信じてほしい。だいじなものは眼には見えません。この、眼には見えない未来を信じる力を持ってほしい。

以上、2025年のスタートにあたり、皆さんの「信じる力」に精一杯のエールを送ります。人との比較ではない、あなた自身の頂点をめざして、立派な翼をのびのびと、思い切り羽ばたかせて大空を目指す3学期にしましょう。